

早稲田大学 教育学研究科  
高度教職実践専攻 入試問題の訂正内容

<2023年度 一般入試（後期日程）>

【教職教養】

●問題冊子2ページ :問3

選択肢「カ. 勤労」を削除

以上

2023年度 早稲田大学大学院教育学研究科

高度教職実践専攻入学試験

(一般入試 (後期日程) : 筆記試験 (教職教養))

## 問題用紙

### 注意事項

1. 問題冊子および解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は、2～4ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に記入すること。なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に正確に記入すること。  
受験番号は以下の例のとおり、数字で記入すること。

(例) 11001 番 ⇒

万	千	百	十	一
1	1	0	0	1

4. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
5. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記具を置くこと。終了の指示に従わずに解答を続けた場合は、答案の全てを無効とするので注意すること。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

問1. 以下は日本国憲法第26条第1項である。空欄(①)～(⑤)に当てはまる適切な語句をそれぞれ解答欄に書きなさい。

すべて(①)は、(②)の定めるところにより、その(③)に応じて、(④)教育を受ける(⑤)を有する。

問2. 以下の文章の空欄(①)～(⑤)に入る最も適した語句を解答欄に書きなさい。

第二次世界大戦敗戦後、我が国の教師教育は大幅に見直された。特に形式主義、権威主義、服従主義的な教員養成を規定した(①)令は、1947年の教育基本法及び(②)の施行により廃止された。1948年には戦前の学校教育の指導原理となっていた(③)も衆参両議院による決議によって、排除、失効が確認された。1949年には(④)が制定され、教員免許の授与権者は都道府県の(⑤)となった。

問3. 以下は2006年に改訂された教育基本法の第2条、「教育の目標」を示した文章である。(①)～(⑤)について、該当する単語を以下から選び、その記号を解答欄に書きなさい(同じ用語を二度使用してもかまいません)。

第2条 教育は、その目的を実現するため、(①)の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

一 幅広い知識と教養を身に付け、(②)を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

二 個人の(③)を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び(④)の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、(⑤)を重んずる態度を養うこと。

三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

ア. 自由    イ. 自律    ウ. 自立    エ. 学問    オ. 勤労  
カ. 勤労    キ. 真理    ク. 価値    ケ. 理念    コ. 尊厳  
サ. 創造性    シ. 個人    ス. 公共性    セ. 進取    ソ. 表現

問4. 以下の3つの問いについて、それぞれに当てはまる記号を解答欄に書きなさい。

(1) ヴィゴツキー (Vygotsky, L. S.) の発達過程の考え方として、最も適切なものはどれか。

- ア 現在到達している発達の水準と援助があれば到達可能な発達の水準の差を、発達の最近接領域と呼んだ。
- イ 個人が社会において健全に成長するためには、それぞれの時期に達成すべき課題がある。
- ウ 人間の特性には、一定の質、量の環境刺激がなければ発現しないものがある。この水準を環境閾値と名づけた。
- エ 発達を規定する要因は主として成熟であり、経験による影響は限定的である。
- オ 人間の発達は、主として環境要因によって決まり、経験と学習の影響を大きく受ける。

(2) 青年期の病として知られる統合失調症について、正しいのはどれか。

- ア 発症頻度は全人口の約6%である。
- イ 発症の原因としてははじめが最も多い。
- ウ 自分の行動を揶揄するような内容の幻聴が認められる例が多い。
- エ もともと発達障害を持っている者での発症率が特に高い。
- オ 多くは薬物療法で完治する。

(3) 教師にもよくみられる燃え尽き症候群に関して、誤っているものはどれか。

- ア 医療職、介護職、接客サービスといった、顧客とのコミュニケーションが重要な職種に起こりやすいとされる。
- イ 症状の一つとしてあげられる情緒的消耗感とは、情緒的に仕事に力を尽くした結果、疲れ果ててしまった状態を指す。
- ウ 症状の一つとしてあげられる脱人格化が起こると、自己防衛的になり同僚や生徒とのコミュニケーションにおいて思いやりがなくなる。
- エ 過重負担の状況や、完全主義傾向のパーソナリティの持ち主で起こりやすい。
- オ 臨床的にうつ病の症状とほぼ一致するため、薬物療法が有効である。

問5. 以下の(A)～(D)のそれぞれの領域について、いずれかの語句を選び、その説明を解答欄に書きなさい。なお、解答用紙の該当欄に、選んだ語句をそれぞれ記入すること。

領域(A) (教育原理)

- B. S. ブルーム (Bloom, B. S.)
- 形式陶冶

領域(B) (日本教育史)

- 藩校
- 三気質 (順良・信愛・威重)

領域(C) (教育法規)

- 指導要録
- 教員の守秘義務

領域(D) (教育心理)

- セルフ・ハンディキャッピング
- CHC理論

2023年度 早稲田大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻入学試験  
 (一般入試 (後期日程) : 筆記試験 (教職教養) 解答用紙)

受験番号				
氏名				

採点欄

問1	①	②	③	④	⑤
問2	①	②	③	④	⑤
問3	①	②	③	④	⑤
問4	(1)	(2)	(3)		

この右の枠内には、何も書き込まないでください。





問5	
領域 (A) 選択語句名	
説明	

領域 (B) 選択語句名	
説明	

領域 (C) 選択語句名	
説明	

領域 (D) 選択語句名	
説明	